

授業科目	保育の心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	園山 繁樹						
授業概要	<p>保育実践は子どもの成長発達・人格形成の基礎となる営みである。この授業ではまず、保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を学び、発達を捉える視点について理解を深める。そして、子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を学ぶ。乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的かかわり体験や環境の意義を学ぶ。</p> <p>授業はテキストに沿って進める。</p>						
授業形態				授業方法	Google フォームを利用して双方向型授業を行う		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ol style="list-style-type: none">1. 保育実践に関する発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について説明できる。2. 子どもの発達に関する心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解ができる。3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的かかわり体験や環境の意義を説明できる。
理想的レベル	<p>標準的レベルに加えて</p> <ol style="list-style-type: none">1. 発達理論等の心理学的知識を踏まえて、保育実践の在り方を考察できる。2. 発達理論等の心理学的知識を踏まえて、保育実践論文を読み理解できる。3. 保育をめぐる社会的問題に关心を持ち、発達理論等の心理学的知識を踏まえて自分の意見を整理できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	10%	
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0%	
レポート外の提出物	0%	
その他	0%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 - DP4 - DP5 - ナンバリング WE21608J

學習課題（予習・復習）

テキストの当該箇所を読み要点を整理しておく。授業で学んだ重要事項を再度確認しておく。	4
--	---

授業計画

第1回	テーマ：保育心理学の意義（序章）、及び子どもの発達と環境（第1章） 保育の心理学を学ぶ意義、発達の概念と原理、発達における環境の重要性、生涯発達的観点からみた発達論
-----	---

第2回	テーマ：発達論と保育（第2章） 発達の原理・原則、発達段階と発達課題、発達と保育
第3回	テーマ：子どもの学びの理論（第3章） 「学び」と「学習」、学びと学習の理論、学びと学習の成立と条件
第4回	テーマ：子どもの学びの特性・家庭と保育（第4章） 子どもの「学び」とは、乳幼児の学びの特性、子どもの学びの読み取り
第5回	テーマ：生物的基盤の形成（第5章） 子どもの誕生、新生児期の発達とその特徴、初期経験と母子相互作用
第6回	テーマ：情動的コミュニケーションと愛着の発達（第6章） 乳児期の発達とその特性、養育者との情動的コミュニケーションと愛着の形成、探索活動と感覚運動的知能・言葉の芽生え
第7回	テーマ：身体機能・運動の発達と探索（第7章） 1歳～2歳児の発達の特徴、身体機能の発達、乳幼児期の運動発達、子どもの発達を促す保育者の援助
第8回	テーマ：自我の芽生えと発達（第8章） 2歳～3歳児の発達とその特性、表象・象徴機能の芽生え、自我の芽生えと発達
第9回	テーマ：内的世界の芽生えと発達（第9章） 3歳の頃の発達とその特性、内的世界の芽生えと思考の始まり、語彙の拡大と言葉によるコミュニケーションの始まり
第10回	テーマ：遊びと社会性の発達（第10章） 4歳頃の発達とその特性、友だちとの関りと自己意識の芽生え、遊びの発達と内的世界の形成
第11回	テーマ：認識・思考・言語の発達と集団の形成①（第11章） 5歳～6歳頃の発達とその特性、認識・思考の発達、仲間意識と合意形成
第12回	テーマ：認識・思考・言語の発達と集団の形成②（第12章） 幼児期後期から児童期前期の発達とその特性、就学前施設から小学校への移行、幼児期後期から児童期前期の言語と思考の発達、ルールや善悪の理解、道徳性の発達
第13回	テーマ：発達の気がかりな子どもの理解（第13章） 関係の中で生まれる子どもの育ち、発達障がいとグレーディング、「気がかりな子ども」の理解と支援
第14回	テーマ：保護者の養育性と子育て支援（第14章） 保護者の養育性の発達、子どもの発達と家庭養育との関連、今日の保護者の子育て不安・ストレスとその支援
第15回	テーマ：保育者の連携とチームワーク（第15章）、及び保育における今日的課題（終章） 心理的安全性とは、心理的安全性とチームアプローチ、チームワークと心の健康（メンタルヘルス）、子どもを巡る社会的背景、今日の保育における課題、新たな時代の保育の創造
テキスト	「コンパス 保育の心理学」 寺見陽子編著 建帛社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「保育学研究」 日本保育学会機関誌（以下のURLから閲覧・ダウンロード） https://www.jstage.jst.go.jp/browse/reccej/-char/ja 「心理学ワールド 【特集】保育と心理学—新しい関係を目指して」日本心理学会機関誌（以下のURLから閲覧・ダウンロード） https://psych.or.jp/publication/world085/

課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none">・小テストは提出後に回答例を提示する。・レポートはコメントを付けて返却する。・定期試験は成績発表後に回答例を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	乳幼児期は人生の中でもっとも成長発達の著しい時期です。そしてその後の人生の礎が形成される大切な時期です。この授業では心理的な発達を学び、一人ひとりに合った対応ができるよう知識・技能を高めていってください。

